

## 第12回 木と暮らしのフェア参加の報告

日田支部広報部長 秋 和夫

令和3年12月5日の午前10時から午後4時まで、パトリア日田に於いて、『第12回 木と暮らしのフェア』に(公社)大分県建築士会日田支部は、ブースを開設して参加致しました。公益事業の一環として、日田支部は木に関わる事業の業種として毎回参加しており、今年の開催当日も、多くの方々に来ていただきました。

建築士会のブースは、恒例の折り紙建築を行いました。会場は、新型コロナウイルスの感染対策で入場時に検温してマスク着用を徹底したうえで、消毒等の対策が行われました。

当日は37組のお客様が来場し、用意していた部数が午前中で無くなってしまい、急いで追加するほどの大盛況で、密状態にならないようにするのが大変でした。折り紙建築を体験した子供たちは大喜びで、カッターの使い方が危なっかしい子もいましたが、手先の器用な子は、こちらの説明を受けなくてもドンドン切り抜いて組み立てていました。頼もしいですね。

今の職人さんは作業効率の面から、殆どが電動工具を使用しておりますが、その反面で、職人作業による丁寧な仕上げは失われつつあります。ブースの一部に昔からの使っていた加工用の道具も展示されていきました。



<会場の様子>

奇しくも隣のブースは、伝統工芸士である「力峰彫刻所」の森さんが、ワシの彫刻を掘っていらっしゃいましたのでその腕前を傍で見学させて頂きました。

許可を頂きましたので、その一部を掲載しておきますね。



折り紙建築は、毎年、小学校高学年対象に開催しており、保護者の参加も多数ありました。刃物をあまり使わなくなった現代の子どもにスタッフは、ヒヤヒヤさせられたようですが、親子にとってはいい経験だったようです。



<折り紙建築ブースの様子>



#### 《報告後記》

折り紙建築は、小学校高学年までの年代を対象に開催しております。これまで、折り紙建築が好評だった事もあり長い間続けて参りましたが、若いスタッフから他のアイデアも必要では？という話になりました。良いもの(伝統)は続けながらも、若い方には、新しい事にも挑戦して行ってほしいと思っています。

最後に、今回のフェア開催にスタッフとして協力して頂いた会員の方々は準備と片付け作業と一日にわたりご苦労様でした。